



## 読むこと スピーチ

組

番 名前

たしかめよう

(中学年)

### 【語句の活用】

文章の中で、「接続語」「主語・述語」「指示語」を適切に活用する。

① 次の文章は、全校集会での校長先生のお話の一部です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

このごろ、みなさんの様子を見ていて、すばらしいなあと思うことがあります。それは、学校内のあちこちで、あいさつの声がたくさん聞こえるようになってきたことです。朝、学校に来たとき、友だちや先生に対して、

「おはようございます。」

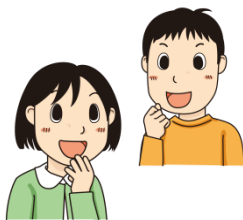
とあいさつする声が、どの学年の人からも聞こえてきます。

られたお客様に対しては、なかなか自分からあいさつができていません。そんな中で、昨日、六年生の一部の人たちが、ろう下ですれ違った地域のスクールガードの方に大きな声であいさつをしました。それを聞いて、とてもよい気持ちになりました。みなさんも、こんなふうに校内だけでなく学校に来られたお客様に対しても、だれにでもあいさつができるとういんですね。この学校に、さわやかなあいさつの声をひびかせましょう。

一  にあてはまる接続語を、次の1から5の中から

一つ選んで番号を書きましょう。

- 1 ところで
- 2 または
- 3 だから
- 4 たとえば
- 5 しかし



二  線部①「人たちが」の主語に対する述語（「どうする」「どんなだ」を、次の1から5の中から一つ選んで番号を書きましょう。

- 1 ろう下で
- 2 すれ違った
- 3 地域の
- 4 スクールガードの方に
- 5 しました

三  線部②「それ」はどんな内容を指していますか。次の1から5の中から一つ選んで番号を書きましょう。

- 1 みなさんにしたあいさつ
- 2 先生にしたあいさつ
- 3 地域のスクールガードの方にしたあいさつ
- 4 友だちにしたあいさつ
- 5 六年生の一部の人たちにしたあいさつ